

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 米山君夫 幹事 梅原正美 会報委員長 北村まり子



世界へのプレゼントになろう

2015年～2016年度国際ロータリー会長
K.R. ラビンドラン

第1462例会 2015年10月1日(木)(雨)

司会 前 肇副幹事

点鐘 米山君夫会長

合唱 「君が代」「奉仕の理想」(山谷洋子さん)

唱和 「ロータリーの目的」(東島礼美さん)

ビジター紹介 サク セイナンさん(米山奨学生) 石橋道
広君(米山奨学・学友 秦野RC) 三浦善政君 平原純子
さん 佐野友保君(秦野中) 宮野龍介君(秦野)

祝結婚記念日 相原(宏)君(10/1) 米山君(10/3)
柳川君(10/7) 加藤君(10/7)

祝誕生記念日 <会員>淵脇さん(10/1) 前君(10/
2) <奥様・ご主人>陶山君(9/25)

祝創業記念日 多田君(10/1) 米山君(10/1)

会長の時間

- 先週の移動例会には多数の御参加、ありがとうございました。
- 9/17(木)、臨時理事会報告(第1461回週報に掲載)
- 山口光弘正青少年交換学生カウンセラーより 今井亜子さんより 近況報告が届いた旨、報告がありました。(報告書配布)
- 9/20(日)、中学生英語スピーチコンテストに出席してきました。若い人が語学を勉強し、広く活動できる事は良い事だと思います。優勝者には来場してお話を

しをして頂ければと思います。

- 9/26(土)、たばこ祭りのパレードに参加。多くの会員の参加、ご苦労様でした。
- H28年2/7、秦野市制60周年記念事業の一貫として「出張なんでも鑑定団」が開催されます。

出品受付期間 10/1～11/30まで

※テレビ放映は6品目です。

幹事報告

[受付文書]

- 秦野ライオンズクラブより 秦野ライオンズクラブ結成50周年記念式典のご案内

日時 11/22(日)

場所 大磯プリンスホテル Tel0463-01-1111

受付 11:00～11:45

式典 12:00～13:15

祝宴 13:30～15:30

- 長野ラオス友好協会湘南事務局より、鎌倉国際交流団体フェスティバル2015のご案内

- 10月米山月間資料のご案内

[例会変更] 秦野 秦野中

[本日の配布物] 「ロータリーの友」「米山記念奨学会2015-2016年度版豆辞典」

スマイル報告

会員数	40名
出席数	29名
出席率	72.50%
前々回 の修正	62.50%

メー クア ップ	[事前] 北村さん 三浦君 (防犯パレード) 原君 (長野北)
----------------	---------------------------------------

本 日 の 普 ラ グ ム	10月8日 ○ クラブフォーラム (市民の日・青少年 奉仕の活動につい て)
---------------------------------	--

次 週 の 普 ラ グ ム	10月15日 ○ 卓話 古谷さん (地区会員増強 報告)
---------------------------------	---------------------------------------

- 石橋道広君(秦野) 「秦野RC、石橋です。地区米山奨学会委員として、米山奨学生、サク セイナンさんの卓話に同行してきました。宜しくお願ひします」
- 宮野龍介君(秦野) 「お世話になります」
- 佐野友保君(秦野中) 「いつもお世話になります」
- 三浦善政君(秦野中) 「11/3、市民の日(3クラブ合同)、本年は中クラブ担当です。麻薬撲滅、EndPolio、危険ドラッグキャンペーンの下打ち合わせにマーキャップさせて頂きました。宜しくお願ひ致します」
- 米山君夫君 「一頃の暑さも過ぎて、あつと言う間に衣替えです。一年で一番過ごしやすい季節ですね。スマイルします」
- 梅原正美君 「米山奨学生、サク セイナンさん、ようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしています。秦野RCの石橋道広さん、本日はありがとうございます」
- 瀬戸 誠君 「スマイルします」
- 飯田隆明君 「ようこそサク セイナンさん。楽しんで下さい!! 石橋道広さん、宜しくお願ひします」
- 前 肇君 「お誕生日記念ありがとうございます」
- 渕脇美代子さん 「誕生日祝いありがとうございます。古希になりました。本日10/1です。これからも宜しくお願ひ申し上げます」
- 加藤一也君 「結婚記念、ありがとうございます」
- 柳川清紀君 「結婚記念のお祝い、ありがとうございます」
- 大屋富茂君 「大阪で還暦野球大会の最中です。今日、準々決勝の為、欠席させて頂きます」
- 多田嘉之君 「創業記念のお祝い、ありがとうございます。創業75年目になります。あと何年もつか…?」
- 河野治男君 「スマイルします」
- 古谷スミ子さん 「本日より10月。過ごしやすい時期になりました。健康に留意して過ごしましょう」
- 桐山晃忠君 「先週のゴルフコンペは中島さんが優勝、おめでとうございます。ちなみにメーカーでした」
- 諸星道治君 「久々の例会にスマイルします」
- 西村隆之君 「ポリオの流行がナイジェリアで止まりました。根絶へ一步前進です」
- 山本裕宣君 「先週のタバコ祭パレード12名の参加、ありがとうございます。秦野名水RCゴルフ、準優勝。また、今週月曜日はガバナー杯ゴルフコンペ、6位でした。スコアは聞かないでください」
- 中島賢治君 「スマイルします」
- 東島礼美さん 「先日は山寺までお越し頂き、ありがとうございました。三浦さんもご協力ありがとうございました」

- 諸星利男君 「スマイル致します」
- 山谷洋子さん 「サク セイナンさん、本日の卓話、楽しみにしています」
- 吉田久美子さん 「サク セイナンさん、卓話楽しみにしております。第2四半期に入りました。引き続きスマイルお願ひ致します」

合計 70,000 円

委員会報告

- 社会奉仕委員会 山本裕宣委員長
9/26(土)のたばこ祭のパレードにご参加して頂き、ありがとうございました。12名の参加がありました。
- テニス温泉旅行同好会 多田嘉之同好会会长
「同好会旅行」開催のお知らせ
日時 11/15(日)~16(月)(一泊)
行き先 白骨温泉・泡の湯(長野県松本市)
宿泊費 20,000円
※例会終了後、会員はお残り下さい。
※出欠を10/15迄に連絡して下さい。(諸星常平君へ)

卓話

- 石橋道広地区米山奨学・米山学友委員会委員挨拶および米山奨学生紹介



米山奨学生の今の状況について少しお話しさせて頂きます。米山奨学生の基本財産は約80億円。昨年の普通寄付、特別寄付合計14億9000万円。寄付の額により奨学生の人数が決まります。今年度は34地区、730名の奨学生を受け入れています。一番多い時は1110名でした。1945年から始まり、18,000余を受け入れています。当地区(2780地区)は34地区中、6番目に寄付が多い地区です(4,900万円)。一番は東京RCです。地区内で秦野名水RCは9位(106万円)です。今後もご協力よろしくお願ひ致します。

「米山豆辞典」を配布致しました。目を通して下さい。サク セイナンさん(米山奨学生)にお話しをして頂きました。

○ サク セイナンさんのお話



皆様、こんにちは。大和中クラブに所属しています、奨学生のさくせいなんです。本日は30分ほどの卓話をさせていただきます、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の卓話のトピックは「留学生活と米山奨学金」です。パワーポイントも参考に見ていただければと思います。こちらが卓話の目次です。時間軸に沿って話させていただきます。

まずは、私の生い立ちです。私は、1993年の7月に、中国の吉林省吉林市で生まれました。両親ともに中国人です。6歳の時に地元の小学校に入学しました。その小学校に半年通って、一年生の冬休みに両親の仕事の都合で北京に引っ越し、北京の小学校に転入学しました。2005年に北京の小学校を卒業して、地元の中学校に入学しました。

次に来日の経緯について説明します。2006年の8月末、友達に13歳の誕生日を祝ってもらった一か月後に、私は両親と一緒に日本にきました。実は3歳の時に一度日本に来たことがあったのですが、幼稚園に半年通っただけで中国に帰ったので、ほとんど記憶にありません。

今回の来日を決めたのも本当に急で、来日の一か月くらい前に親に日本のいかないかと聞かれて、うん、行くと答えて、そこから急いで手続きを進めて、一か月後には日本にいました。ですので、自分の名前すらわからないまま公立の中学校に編入学して、私の留学生活を始めました。

日本に来た理由はいくつかあります。先ほど私の生い立ちのところで自分は吉林省で生まれたと説明しました。吉林省は中国の北東部に位置して、旧満州にあたるところで、反日派と親日派に激しく分かれていますが、日本の名残が強くて、日本語を話せる人も多いです。私の両親は中学時代にたまたま学校に日本語が話せる先生がいらしたので、外国語は英語ではなく日本語を勉強したそうです。そのま

ま大学まで日本語の勉強を続けて、卒業した後は日本の仕事を請け負う会社に入ったそうです。その関係で、両親はショットチゅう日本に出張して、私が三歳の時に日本に来たのもそれが原因でした。

私は日本に来るまで両親と一緒にいる時間が少なかつたので、自分が日本に行けば両親と一緒に暮らせると思っていたのが私の中の一番の決め手だったのかもしれません。日本に来た後になぜ私を日本に連れてきたかを両親に聞いたら、どうも前から計画していたらしいです。だから中国では7歳から小学校に入学するところを、わざと日本に合わせて一年早く私を小学校に入れたらしいです。毎回出張で日本のお土産を持って帰ってきたのも、家の中に日本の置物や食べ物であふれていたのも、よく日本の話をしたのも私に日本に親近感を持ってもらうためだったらしいです。しかし、中学校に入って、寝る時間もなく勉強ばかりしていた私を見て、来日の計画を早めたらしいです。よく日本の話を聞かされていたので、日本にとても興味があって、言葉ができない不安よりも楽しみが多くて、2006年の8月、私はわくわくして日本にきました。

私の中学生活です。私が通った江戸川区立西葛西中学校は公立の中学校で、外国人は私を入れて2人しかいませんでした。もう一人は日本語がペラペラでした。言葉が通じなかつたので、授業もわからないし、友達もできなくて、最初のころはただただ席に座ってボーっとしていました。正直つらかったです。友達ができて、授業も半分くらい理解できるようになったのは一年くらいかかりました。中学の後半は部活にも入って、英検や漢検も受けて、塾にも通って、普通の日本人の中学生と同じような中学生活を送っていました。ちなみに部活はガーデニングと手話をやっていました。

高校についてです。高校は在京外国人入試で都立国際高校に入りました。中学と違って、外国人や帰国子女が多い学校で、勉強よりも部活やボランティアなど、やりたいことをやり放題なところでした。勉強ばかりの中国の詰め込み式教育と違って、各々が個性を伸ばすところでした。バトミントンやお琴、バンドやボランティアなどなど、勉強以外のことでも忙しかった三年間でした。国立の大学に入るため塾に3年間通いましたが、大学を選ぶとき親に初めて反抗して、自分で慶應義塾大学を選びました。

大学生活について。来日した当時、日本で水道水が直接飲むことや春に黄砂が飛ばないことに驚いて、日本と中国の環境の違いを感じ、環境問題に関心を持ち始めました。環境政策をやりたい、中国の環境を改善したいと思って、慶應義塾大学の総合政策学部を選んで、大学に入学し

ました。

大学では環境関係の授業を中心に履修し、普通は3年または4年からゼミに入るところですが、私は入学してすぐにゼミに入って、今は環境工学環境政策を専門とする先生のゼミと中国の社会を研究している先生のゼミ二つ掛け持ちしています。サークルは学園祭の実行委員会をやっていました。

奨学金事情です。国立しか許さなかった両親に私は慶應の学費だけ出していただいて、生活費は自分で負担すると交渉して、なんとか入学を許可してもらいました。

もちろん自分でもアルバイトをしていますが、それでも150万近くを稼ぐことは無理に近いです。コンテストに参加して賞金をもらうや、奨学金をいただくなど、ほかの方で生活費を工面しました。大学一年の時は、高校の時の成績を基に選考を行った慶應義塾大学給費奨学金、15万円をいただきました。大学二年の時は、JASSO の学習奨励費、毎月4万5千円と、一年生の時の成績を基に選考を行った慶應義塾大学給費奨学金を受給していました。運よく学年の最優秀学生に選ばれて、通常の15万円に30万円プラスされて、計45万円をいただきました。そして大学三年になって、ようやく米山奨学金に手が届きました。米山奨学金は数多くある奨学金の中でも特に人気が高くて、私が選ばれて本当に光栄に思っています。

米山奨学生になってから。米山奨学生になってからまず一番先にやったことは学校の近くに引っ越しました。通勤に3時間ほどかかっていたので、本当に不便でした。米山奨学金の受給をきっかけに学校まで歩いて10分のところに引っ越しました。バスや電車の時間を気にせずに夜中まで学校で勉強できることが本当にうれしかったです。次に電子辞書を購入しました。私は第二外国語でフランス語を勉強していますが、電子辞書が高くてなかなか手が出せませんでしたが、奨学金をいただいて、即購入しました。さらに、アルバイトの時間を短くしました。アルバイトは高校からずっと続けていて、今まで10類以上のアルバイトをしたことがあります。自分の力で稼げるのはうれしいですが、4年しかない貴重な時間をアルバイトに過度に費やすのは勿体ないです。米山奨学金のおかげでアルバイトの時間をだいぶ減らすことができました。平日は学校で助手をして、土日は半日ずつ働いていました。大学三年に上がって、土日も入れてほぼ毎日学校に行っていました。研究室にいる時間と家にいる時間どっちのほうが長いかわからないほど、研究室にこもっていました。米山奨学金のおかげで勉強に専念することができて、本当に感謝しています。

米山奨学金は多額な奨学金をいただくだけではなく、カ

ウンセラーがついて、そしてクラブに所属して、例会に参加することができます。このことで、所属感が生まれて、何かがあるときに相談できる人がいらっしゃると思うだけで、心強いです。

さらに、クリーンキャンペーンや研修旅行、地区大会などのイベントも充実していて、ほかの留学生や、学校を卒業した留学生の先輩たちと交流することができます。お互いに悩み事を相談したり、励ましあったり、情報交換したりして、さらに友達が増えました。

これから目標。卒業を目の前にして、私は就職ではなく、大学院に進むことに決めました。自分がまだ未熟で、環境問題を改善できそうにないと感じたので、さらに大学院に進んで、もっと深く勉強したいと思っています。

振り返ると、私が日本に来て早くも9年目に突入しました。人生の半分近くを日本で過ごしていることになります。日本は私にとってもう第二の故郷を通り過ぎて、母国の中日とほぼ同じくらいの重みを占めています。日本を自分の国のように感じていることや日本人の習慣や考え方方が身についたことは留学において何よりの収穫だと思います。

私は大学から日本に来ている留学生より長く日本に住んでいます。そのことによって、日本はただの留学先からもう一つのふるさとと変わって、友達もたくさんできて、そしてなにより、物事を考えるときの視野が広がりました。日本に長く住んでいないと日本人の考え方や習慣を理解することは難しいです。日本の礼儀が正しい、マナーが良い、しっかりしているなど良い一面も、いじめや排他的でオーブンじゃないなどよくない一面も身を以て体験しています。日本で教育を受けて、進んだ技術を自分の国に持って帰るだけの留学生は勿体いないと思います。日本人の考えたかたや国民性こそ私たち留学生が学ぶべきものだと思います。几帳面な性格、思いやりの精神、グループワークができる協調性などなど、これらこそ私が日本での留学生活の中で得たかけがえのないものです。

これからはグローバルな人材を目指して、日本と中国をより良い国にしていきたいです。

どうぞお支援をよろしくお願ひいたします。
ご清聴ありがとうございました。